

# 町政報告



## ( 主な内容 )

6月定例町議会が、6月10日から6月17日までの日程で開催されました。初日、町長が町の現状や課題などについての町政の概要を報告。13日には3人の議員が登壇し、一般質問を行いました。

今議会では平成17年度一般会計補正予算や二ツ井町総合体育館条例の制定など14議案について審議され、11議案が原案どおり可決、3議案が承認されました。

### 能代市二ツ井町合併協議

これまでの推移については、先の議員協議会でも報告しておりますが、総務大臣より、5月26日付で能代市との合併による廃置分合が告示されました。議会の皆様はじめ、町民各位の力強い激励、ご支援によるものと厚くお礼申し上げます。

6月2日の第7回の合併協議会においては、日程や合併に係る基本方針、事務組織および機構に係る基本方針などについて承認されており、今後、合併後に設置される地域自治区や人員配置など、多岐にわたる協議が必要ですので、それぞれ調整が整い次第ご報告し、ご意見を賜りたいと存じております。

合併後の住所の表示については、地域における説明会などの場で、ご意見をうかがって参りましたが、「二ツ井町」の名称については、何らかの形で残してほしい旨の発言が多くありました。町が歩んできた歴史や、これからの地域のあり方も含めて考えるとき、町としても、合併後の住所に「二ツ井町」の名称を残すべきと考え、ご意見をうかがいながら、協議を進めて参りたいと存じております。

合併に伴う電算システムの精算、統合については、議員協議会で説明申し上げたとおりであります。7市町村合併協議時に取得した電算機器等については、1807万4000円が能

代市より精算されることとなりました。能代市との合併による電算システムの統合については、合併時に必要な住民情報システムなど6システムを予定しております。統合による経費は、7億948万4000円が見込まれており、町の負担は、事業費ベースで約7・2%に相当する5089万8000円としております。

### 総合体育館

15年12月の着工以来、3年間にわたる工事は順調に推移し、工期を1カ月早め、今月30日竣工予定となっております。

CM方式の採用によってコスト削減に努めたほか、



今月竣工を迎える総合体育館

地元業者との直接契約、JVによる参画、地場産材の納入、下請けによる工事の確保、地元技術者の雇用などにより、町内企業の参画は13業種にわたり、事業費の約17%、2億600万円ほどに及んでおります。

運営にあたっては、経費削減に努め、適切な負担をお願いしながら喜んで使っていただけよう、利用料などについて検討を加え、二ツ井町総合体育館条例を提案致しております。

あわせて、竣工に伴う祝賀・記念行事を計画し、関係予算を計上しております。

都市公園事業は、このあと、19年夏までに完了することとし、18年度には約1万7000平方メートルの用地買収、19年度には多目的広場、健康広場の造成を行い、国体開催に向けた一連の工事を終えることとしております。

### 稲作

今年の稲作は、寒暖の差が大きく、苗の生育にバラつきも見られましたが、お

# 6月定例町議会

おむね順調に推移しております。田植えは平年より3日から7日程度の遅れでしたが、5月後半からの好天に恵まれて春作業はほぼ順調に推移し、生育も良好とかがつております。

米政策改革がスタートして2年目となる、今年度の生産目標数量は、出入り作や市町村間の調整により、当初配分より98トン多い5803トンと見込まれ、作付面積にして1049ヘクタールを見込んでおります。

## 農産物直売所

農産物直売所の建設については、関係者との話し合いを重ね、秋ごろの完成をめざして計画を進めて参ります。総合観光センターなど既存施設との連携を図り、相乗効果が発揮されるよう努めて参ります。

道の駅リフレッシュトイレ隣りに建設することし、これに伴う駐車スペースの確保を図るとともに、道の駅駐車場全体の整備を図って参ります。

## 大区画ほ場整備事業

大区画ほ場整備事業は、17年度で面工事96ヘクタールが計画され、今月7日に、富根地区で6工区が発注され、地元業者が4工区を受注したとかがつております。工事の円滑な推進について、関係者のご理解とご協力をお願い致します。

## 男女共同参画

昨年12月に男女共同参画計画策定委員会を設置し、計画づくりを進めておりましたが、この3月末に成案を得ております。

今後は、この計画に基づいて町民の啓発や学習を重ね、意識の向上を図るとともに、自分らしく生きられる社会の実現を目指した取り組みに努めて参ります。

## 子ども園

新年度から二ツ井、高丘きみまちの3子ども園体制で保育事業を実施しておりますが、入所もほぼ計画通り調整ができ、順調に園児の送迎も行っております。

切石、富根保育園の放課

後児童クラブは、月曜から金曜の、午後1時から6時までの時間帯で開設し、児童生徒の利用を図っております。利用状況は、1日平均で、切石が4月6・6人、5月4・2人、富根が4月12・6人、5月15人という状況であります。



新体制となった子ども園

県の補助により実施している、すこやか子育て支援事業により、8月1日から保育料が軽減されます。

ことし4月2日以降に生まれた幼児を対象として、1歳以上の就学前幼児の保育料を半額助成し、0歳児については月1万円の乳児支援金を支給することとしております。

4月1日以前に生まれた幼児については、経過措置や特例措置により、これまでどおり第3子以降と第1子の0歳児は保育料を無料とし、第1子と第2子で1歳以上の就学前幼児については、4分の1を助成することとなります。

また、同事業において、乳幼児福祉医療制度の医療費自己負担分無料を見直し、8月1日より0歳児と町民税非課税世帯以外の乳幼児の医療費について、1レセプトあたり1000円を限度として負担していただくことになりました。

所得制限を超える世帯の幼児の入院などについては、これまで同様、町単独で支援を行うて参ります。

## 国民健康保険

国民健康保険事業は、退職医療の加入者が増えていくものの、一般加入者は老人保健制度への移行等により減少しており、全体では5261人と、ほぼ前年並みで推移しております。

医療費は、退職者分が増

# 6月定例町議会

えたことにより増加傾向にあります。16年度からの繰越金が当初の予想を上回りましたので、税率を据え置くことと致しました。

農業所得や給与所得が減少しておりますので、税率を据え置いた場合でも、保険税は1人当たりで3200円、世帯当たりでは7900円ほど軽減されると見込んでおります。

介護分の保険税についても、同じく据え置くこととし、同様に1人当たりで3000円、世帯当たりでは4000円ほど軽減されることとなります。

**小掛・鬼神地区水道整備**  
小掛、鬼神地区の水道整備は、実施設計を発注し、作業を進めております。

17年度は、取水施設、送水施設、配水池および仁鮎地区の配水管整備を行うこととしておりましたが、小掛地区において、用水確保の厳しさが続いており、仁鮎地区のご理解を得て、小掛への通水を急ぐことと致しました。年度内の通水開

始をめざして進めて参ります。

## 防災行政無線

災害時などに、全町一斉に情報を伝達する手段として、防災行政無線の整備を計画し、国に事業採択をお願いしておりましたが、採択された旨の通知が入り、実施設計の委託など作業を進めております。

計画では、今年度から3カ年で各地区に、高感度拡声器で広報・伝達を行う42基の屋外子局を設置し、全町をカバーすることとしております。

今年度は、役場内に親局、二ツ井本町と荷上場、小繋、切石地区に子局10基を設置する予定で整備を進めて参ります。

## 消防の広域化

常備消防の広域化について、消防力の強化が図られるとの判断から、5月の広域圏組合理事会で合意し、二ツ井藤里地区、能代地区、山本郡南部地区の3消防本部を組織統合し、広域圏組

合消防本部とする方向で協議が進んでおります。

統合の目標時期は、市町村合併前の来年3月1日とし、6月からは5名の事務局体制で作業に入り、並行して消防長等による消防広域化調整会議で事務の調整、方向付けを行い、9月を目処に大筋を取りまとめることとしております。

目標として、12月定例議会で広域圏組合理約の一部変更や行政組合の組織解散などの議決をお願いし、2月には広域圏組合理事会で、関係議案を議決するスケジュールを見込んでおります。

## 日本海沿岸東北自動車道

日本海沿岸東北自動車道・琴丘能代道路の仮称二ツ井インターは、19年9月開催の秋田わか杉国体前の開通が予定されております。

インターの名称について、町内関係団体などの考えもつかがったところ、二ツ井の名前を残すこと、および世界遺産白神山地の玄関口であることから、一致して「二ツ井白神インター」が



二ツ井インター（仮称）予定地

望ましいとのことでありました。町としてもそのように存じ、6月議会終了後、要望活動を展開して参りたいと考えております。

## 小学校再編

4月から二ツ井、富根、仁鮎、切石の4小学校体制となり、2カ月が経過しました。新しい学校に通い始めた児童も環境になじみ、元気に、学習、部活動に取り組んでいるとうかがっております。

小学校再編につきまして、近く「基本構想委員会」の報告がまとまると聞いております。早い機会にご報告し、ご意見をうかがうべく作業を急いで参ります。